

富山県感染症発生動向速報

(2026年第12週分・3月16日～3月22日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの報告数は減少傾向ですが、依然として多い状況が続いています。

B型の検出割合は89.7%と依然多くを占めています。A型に感染した方でもB型に再感染する可能性があります。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

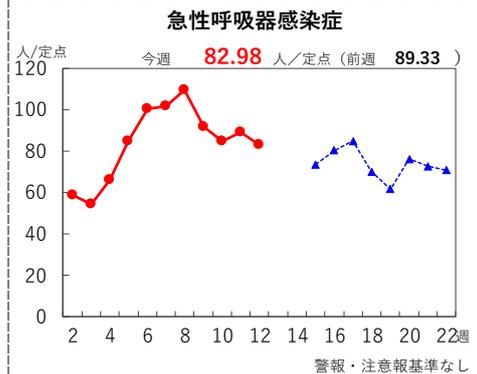
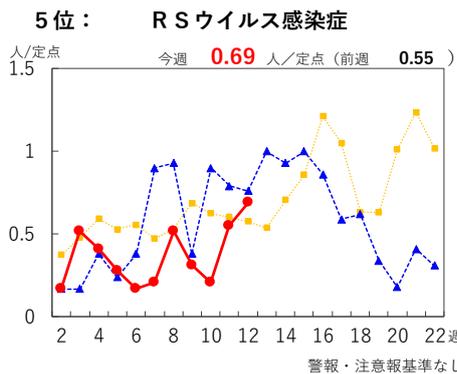
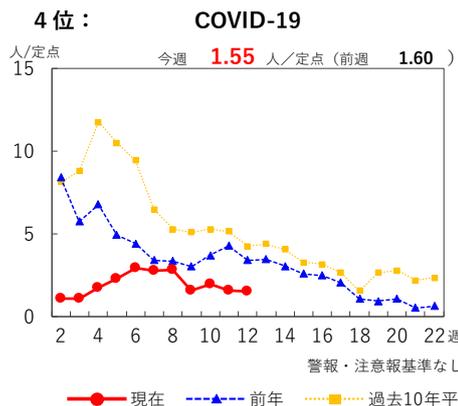
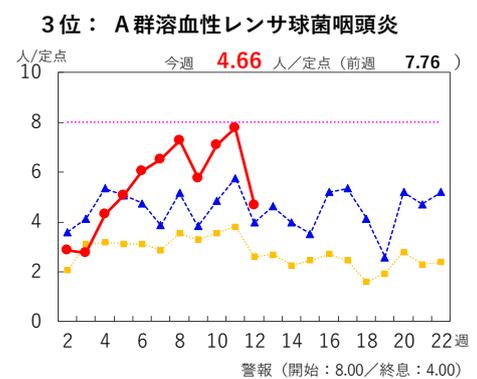
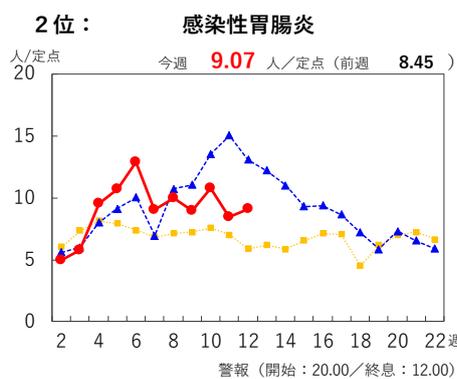
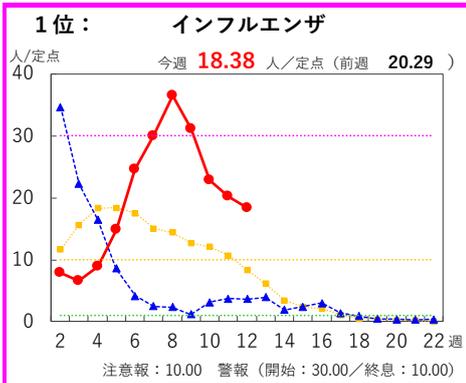
○感染性胃腸炎の報告数が多い状況です。

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、細菌やウイルスなどの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のために、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(第5週のインフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患 + 急性呼吸器感染症 (第12週・3/16～3/22)

警報



—●— 現在 —▲— 前年 —■— 過去10年平均 —●— 警報 —●— 注意報 —●— 流行

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

四類感染症 レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 梅毒 1件 (10歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)





県内の梅毒が昨年最多！ 早期発見・早期治療が重要です

《 インフォメーション 》

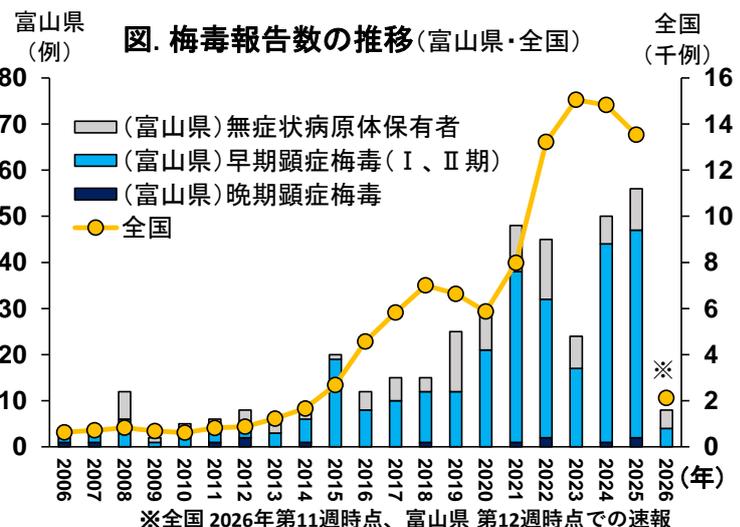
●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ（細菌）を原因とする感染症で、主に感染者との性的接触によって広がります。感染すると、潜伏期、早期顕症梅毒Ⅰ期（感染部位にしこりや潰瘍）、早期顕症梅毒Ⅱ期（赤い斑点様発疹「バラ疹」が体幹、手掌、四肢にみられる）という経過をたどりますが、Ⅰ期とⅡ期の間に症状がない潜伏梅毒の時期があり、これが受診の機会を逃す一因となっています。なお、潜伏梅毒はⅡ期以降にも認められ、数年～数十年後に、皮膚や骨のゴム腫、心血管梅毒を発症することがあります（晩期顕症梅毒）。また、感染した妊婦から胎児へ感染し、流産や死産、先天異常（難聴、肝脾腫、角膜炎、骨異常、心奇形、歯の異常等）、精神発達遅延等を持った状態（先天梅毒）となることがあります。

全国の梅毒報告数は2011年頃から増加傾向となり、2025年は13,530例の報告がありました（図：折れ線グラフ）。なかでも全国の先天梅毒の報告数は2018～22年には20例/年程度であったのに対し、2023～25年には30例/年以上に増加しています。

県内の梅毒報告数は、全国同様、男女ともに増加傾向にあります。2025年には56例の報告があり、感染症法施行（1999年4月）以降で最多となりました（図：棒グラフ）。2026年は第12週時点で、8例の報告がありました。直近5年（2021～25年）の感染者の年齢分布は、男性では30歳代が最も多く、20～60歳以上の各年代に幅広く分布しています。女性では20歳代が最も多く、20～50歳代の各年代に幅広く分布しています。感染経路は主に異性間の性的接触となっています。また、病型別報告数は、男性ではⅠ期、女性ではⅡ期が最も多くなりました（[富山県／富山県の梅毒の発生状況](#)）。

梅毒は主にペニシリン系抗菌薬による治療が可能で、早期の治療が重要です。晩期だけでなく早期でも皮膚、陰部、口、腎臓、脳・神経、骨などの臓器に多彩な症状が認められることがあります。少しでも心当たりがあれば、早めに医療機関を受診しましょう。また、パートナーも感染の可能性があるため、受診をお勧めします。なお、厚生センター、保健所では、匿名で相談や検査を受けることができます[[梅毒、クラミジア検査:富山県](#)、[HIV\(エイズ\)性感染症相談・抗体検査:富山市](#)]。感染予防には、不特定多数との性行為を避けること、適切にコンドームを使用することが不可欠です。また、妊娠後期では先天梅毒を防げない場合があるので、妊娠がわかったら妊婦健診を受けましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第12週 2026年3月16日～2026年3月22日）

分類	疾患	今週報告分（第12週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核						1		6	2	9	18	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く						1		3	2	5	11	
	四類感染症	レジオネラ症			1		1	1	1	2	1	2	7	
	五類感染症	急性脳炎							1				1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1	1	2	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症											2	2
		侵襲性肺炎球菌感染症							1		2		2	5
梅毒				1			1	2	2	1		3	8	
百日咳							1				6	7		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	393	385	1,208	319	1,595	3,900	4,740	4,108	14,059	4,085	17,611	44,603
			56.14	77.00	92.92	45.57	106.33	82.98						
		インフルエンザ	76	129	225	90	344	864	1,288	1,013	3,033	1,201	4,195	10,730
			10.86	25.80	17.31	12.86	22.93	18.38						
		COVID-19	13	4	21	16	19	73	235	113	197	98	389	1,032
			1.86	0.80	1.62	2.29	1.27	1.55						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症			6	1	13	20	19	8	33	8	54	122
					0.75	0.25	1.30	0.69						
		咽頭結膜熱	1		7		2	10	20	5	73		47	145
			0.25		0.88		0.20	0.34						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	63	15	50	135	68	103	749	123	722	1,765
			0.50	1.67	7.88	3.75	5.00	4.66						
		感染性胃腸炎	34	13	47	4	165	263	339	246	678	143	1,551	2,957
			8.50	4.33	5.88	1.00	16.50	9.07						
		水痘	1		1		10	12	2	5	23	5	53	88
			0.25		0.13		1.00	0.41						
		手足口病										1		2
	伝染性紅斑					1	1	5		13	4	10	32	
						0.10	0.03							
突発性発しん			3		1	4	4	9	32	8	27	80		
			0.38		0.10	0.14								
ヘルパンギーナ	1					1	13					13		
	0.25					0.03								
流行性耳下腺炎							1				3	4		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎	2					2	7	1				8	
		2.00					0.29							
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1	
	マイコプラズマ肺炎	1		1			2	8		2	2	3	15	
		1.00		1.00			0.40							
	クラミジア肺炎										1		1	
											1	1		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	1			2	2	5	51	41	47	39	95	273	
	COVID-19による入院患者	1		1	1	11	14	13	13	5	7	44	82	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

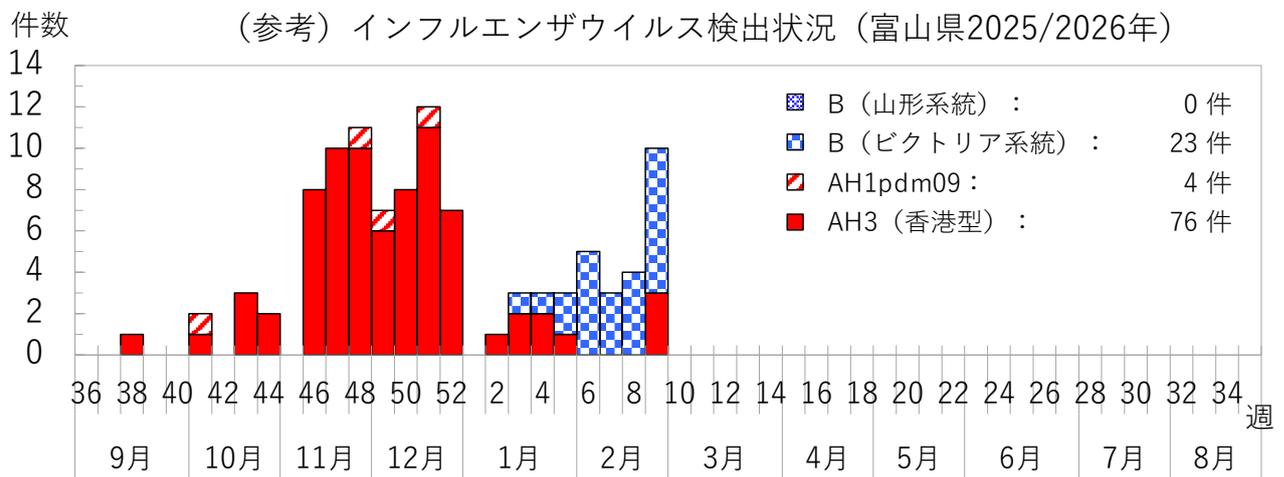
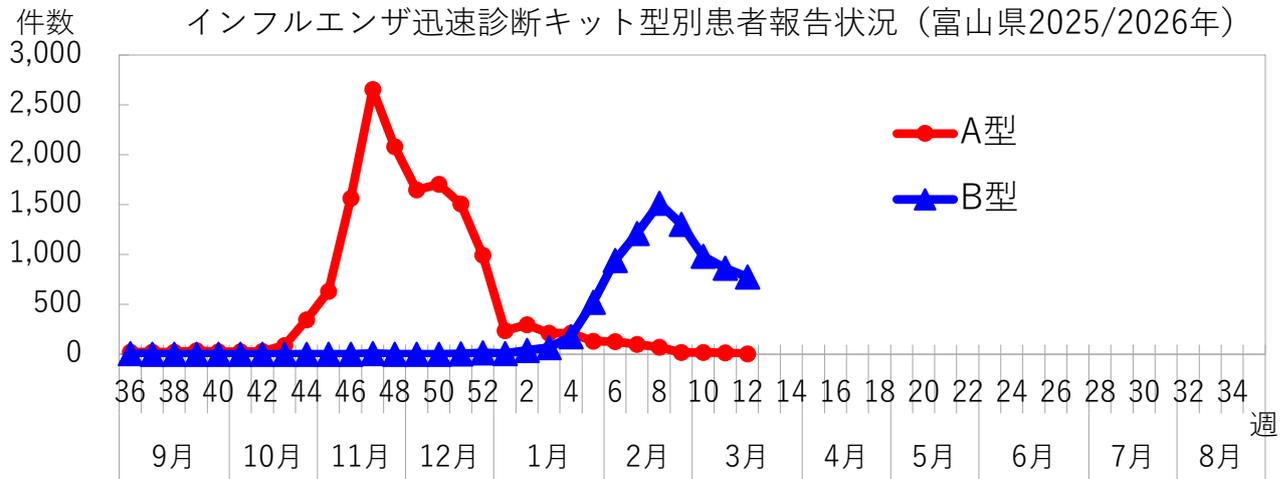
現在、下の表によると、B型が89.7%となっています。

第12週（3/16～3/22）：富山県 18.38人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	2	68	6	76
中部	5 / 5	2	114	13	129
高岡	13 / 13	0	195	30	225
砺波	7 / 7	0	88	2	90
富山市	15 / 15	1	310	33	344
富山県	47 / 47 ^{※1}	5	775	84	864
富山県累計（2025年36週～）		14,847	8,455	2,044	25,346

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

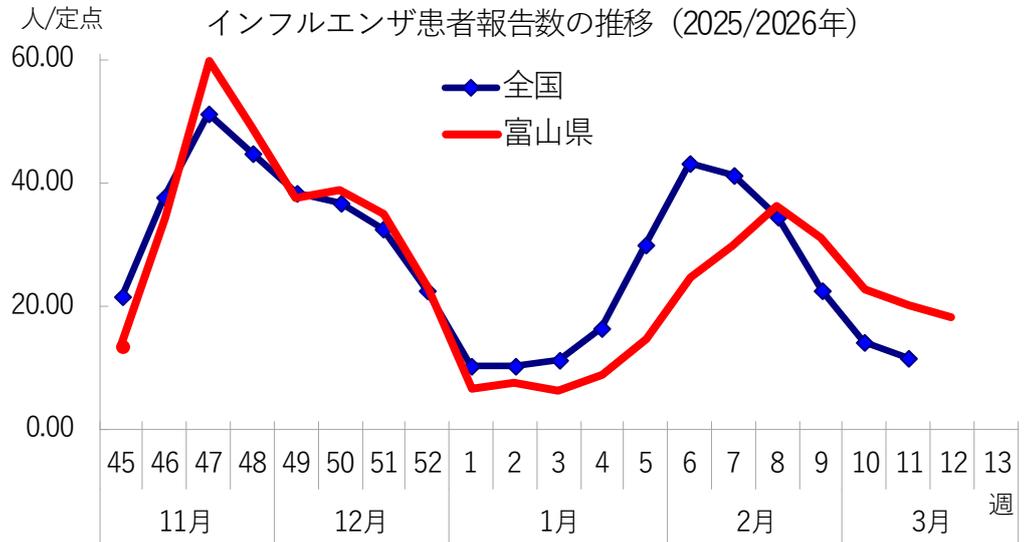


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第12週（3/16～3/22）

富山県 18.38人/定点 [新川（10.86）、中部（25.80）、高岡（17.31）、砺波（12.86）、富山市（22.93）]

今週の県内の患者報告数は、18.38人/定点となり、先週(20.29)より減少しました。

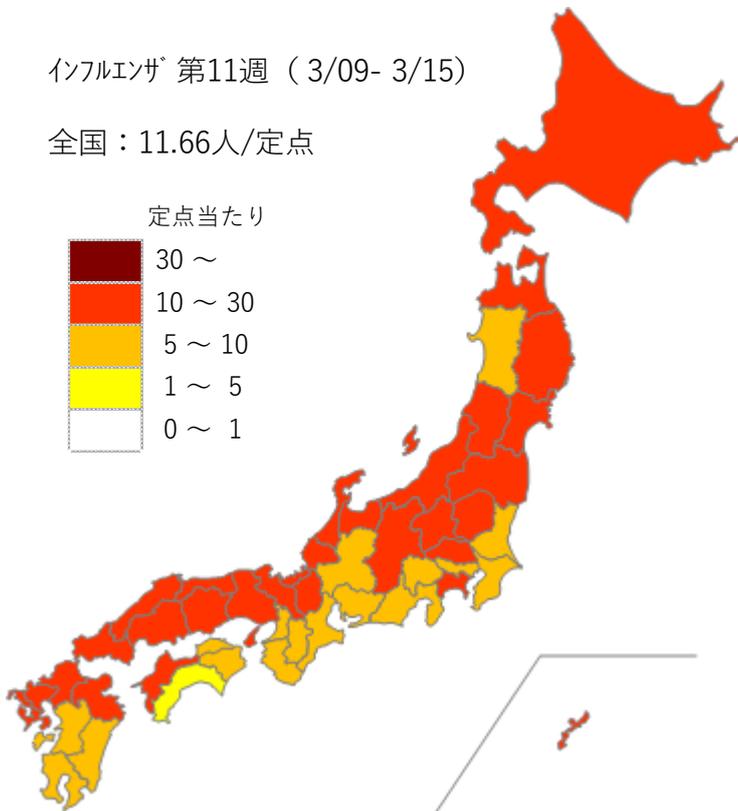
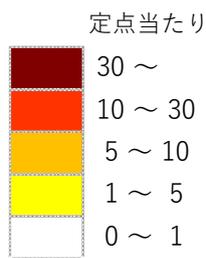


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第11週（3/9～3/15）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり11.66人となり、前週の14.34人より減少しました。4県で前週より増加しています。43都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第11週（3/09- 3/15）

全国：11.66人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	24.13 ↓	滋賀県	11.31 ↓
青森県	20.73 ↓	京都府	11.91 ↓
岩手県	20.98 ↓	大阪府	7.91 ↓
宮城県	11.53 ↓	兵庫県	10.45 ↓
秋田県	9.76 ↓	奈良県	8.98 ↓
山形県	16.97 ↓	和歌山県	7.09 ↓
福島県	13.54 ↓	鳥取県	17.69 ↑
茨城県	9.27 ↓	島根県	16.80 ↑
栃木県	10.20 ↓	岡山県	12.42 ↓
群馬県	15.42 ↓	広島県	11.10 ↓
埼玉県	12.68 ↓	山口県	14.54 ↓
千葉県	9.38 ↓	徳島県	9.52 ↓
東京都	8.80 ↓	香川県	8.61 ↑
神奈川県	11.26 ↓	愛媛県	14.19 ↓
新潟県	20.69 ↓	高知県	2.74 ↓
富山県	20.29 ↓	福岡県	13.25 ↓
石川県	21.36 ↓	佐賀県	10.13 ↓
福井県	17.41 ↑	長崎県	12.18 ↓
山梨県	7.29 ↓	熊本県	9.74 ↓
長野県	23.52 ↓	大分県	12.09 ↓
岐阜県	7.02 ↓	宮崎県	8.32 ↓
静岡県	5.54 ↓	鹿児島県	6.70 ↓
愛知県	8.97 ↓	沖縄県	10.98 ↓
三重県	7.86 ↓	全国	11.66 ↓

